

一般質問

佐々木 常子 議員

ここからは

一般質問 6人の議員が登壇し、15項目の質問をしました。

質問の
ねらい

安心、安全の当別町に!!

人口減少を食い止めるためにも、安心、安全の当別町にしていくことは重要。近年、頻発している大規模災害に対して、町民が安心して安全に暮らしていくために、防災減災対策をさらに充実させていくことが大

切である。在宅医療を進めていく上でも、町民が安心して暮らすためのできる限りの対策が必要と考える。教育環境も、子どもたちが安心して教育を受ける環境が重要である。

ここを
聞きたい

見やすい防災ガイドを

問 現在の防災マップは、内容は濃いが絵が小さかったり分かりづらいとの町民の声が複数ある。防災意識を高めていくためにも、幅広く住民の声を取り入れたガイドブックが必要では。

答 平成28年4月に全戸配布した防災マップは情報量も多く良いとのご意見もあるが、文字数が多い、イラストが小さいという意見もある。この解消のためダイジェスト版の作成を検討していく。



家庭の防災備蓄品（本人提供）

ここを
聞きたい

停電時の在宅医療に不安

問 昨年の胆振東部地震の際、酸素ボンベ使用者は停電でとても不安な思いをしたと聞いた。在宅医療を受ける方たちが少しでも安心できるよう、早急に貸出し用の医療用発電機を設置すべきでは。

答 停電時、酸素濃縮器※1はバッテリーに切り替わるなど、すぐに支障は出ない。現在、災害用に保有している発電機を利活用する体制が整っているので、これに対応できると考えている。

ここを
聞きたい

災害時 充電場所の周知を

問 医療用発電機について、災害があった場合、今ある発電機を使って充電できますというような周知をしていく必要があるのでは。

答 酸素療法の方に関して言えば、例えばここに来てというよりは、何百人もいるわけではないので、必要に応じて発電機をお持ちするとか、手厚い配慮が必要と考えている。

ここを
聞きたい

新校舎への通学は大丈夫か

問 建設予定地の当別中学校は、吹雪がひどくて小学生が歩いて通うのは無理なのでは。子どもたちの安全のために、近くに住んでいても、冬期間だけでもスクールバスで通学できないか。

答 現に当中付近から当小に通っている子もいる。近くの子がスクールバスを使わなければ登校できないという状況は、気象状況が悪いということなので、臨時休校などの措置により対応する。

ここを
聞きたい

学校周辺の灯りは

問 中学校の通学路が薄暗いまま、何年も改善されていない。子どもたちの安全のため、改善が必要では。

答 基本設計の段階で、新校舎周辺の照明は現在よりも多く配置して、安全に配慮していく計画としている。

【その他の主な質問項目】
乳児用の液体ミルクの備蓄

※1 酸素濃縮器…空気から高濃度の酸素を作り出す装置のこと。酸素療法に用いられる。



一般質問

櫻井 紀栄 議員

質問の
ねらい

人口増加に向けた政策を

今後の人口増加に向け、移住者や起業者、今住んでいる町民の人口流出を止め、長く住み続けられる当別町としてどんな支援や政策を展開していくのか。

子育て世代や単身者、学生など

様々なライフスタイルの方々が良質で適正な価格で住める住居の確保として空き家や町営住宅のリノベーションは検討しているのか。

子育てにも力を入れている街としてのふるさと納税の返礼品展開は。

ここを
聞きたい

魅力的な商品作りは

問

ふるさと納税とそれを活用したまちづくりについて、子育て世代向けの返礼品もあると子育てにも力を入れている町として認知されると思うが、魅力的な商品づくりや取り組みは考えているか。

答

既に、木製の乳歯入れ、子ども椅子と机のセットといった返礼品をラインナップしている。バリエーションをさらに増やしていくよう町内の出品事業者に働きかけをしていく。



ふるさと納税の返礼品パンフレット

ここを
聞きたい

魅力ある町の具体案は

問

ふるさと納税の多額な寄附金の利活用について、ホームページなどに町の魅力あるまちづくりに活用しているとあるが、町長の理想とする魅力ある町の具体案は。

答

教育、子育て、福祉の町を実現するために確かな経済力と稼ぐ力を養っていく。それが、私が今考えている姿である。

ここを
聞きたい

起業者・若者への支援は

問

移住促進の具体的政策について、当別町が他の地域から来た人や起業者、若者に対して現状どのような支援をしていて、この先どのような支援を町としてやっていく方向であるのか。

答

国の制度を活用し首都圏から移住して起業した方には最大で300万円、転職した方には100万円を支援。子育て支援策として乳幼児等の医療助成の拡充、保育所の無償化などを進めてきている。



空き家をリノベーションしている様子(本人提供)

ここを
聞きたい

町住・空き家の有効活用は

問

人口増加や稼ぎ手の移住を見越し、良質な住居確保などの目的で、既存の町営住宅や空き家の有効な転用は検討しているか。

答

既存の町営住宅は低所得者向けの施設となっている。空き家について町が把握している物件は倒壊の恐れがあったり、管理が不十分なものが多く活用するになじまない判断している。

一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の
ねらい

住民の身近な要求に応える町政を

公園を気軽に楽しく利用する～ある意味人口減少問題とも深く関わりあっており、そういう立場から1. 公園のトイレ汚れがひどい。掃除はどうなっているのか。2. 公園の遊具、5月の大型連休に使えない状態

で改善の必要があると思うがいかがか。3. スターライト北側基線川に設置されている短歌の看板、倒壊したまま放置。見るに忍びない。他に消費税10%問題、危険な物置放置、町住の水はけ問題を取り上げた。

ここを
聞きたい

公園の環境整備を

問 公園のトイレをいつもきれいで気持ちよく使いたいが、あいあい公園・遊々公園のトイレ施設内清掃は、どのようにしているのか。

答 トイレの清掃は、原則週3回公園管理者に行なわせている。週末など利用者が多く汚れがひどい場合など、状況に応じ丁寧に清掃するよう指示している。

ここを
聞きたい

公園遊具の冬季解除を早期に

問 大きな公園を除き、公園の遊具が5月連休になっても冬季解除がされず、使用できない公園が多いが、改善する余地があるのでは。

答 町内には、大小66カ所の公園と121個の遊具が設置されている。雪解け後、安全点検を行いながら、できるだけ早く、冬季解除できるよう発注時期や作業工程などの工夫をしたい。



めだか広場(太美スターライト)にある短歌の掲示版

ここを
聞きたい

短歌の掲示版の再建を

問 基線川(太美スターライト)に設置されている短歌の掲示版が損傷倒壊したまま放置されており、散策道路も含めて工夫して検討・整備すべきでは。

答 めだか広場にある短歌看板が、放置されている事は、残念に思っている。短歌の会の皆様の意見もお伺いして、掲示版や提示方法を考えていきたい。

ここを
聞きたい

危険な物置の早急な撤去を

問 通園・通学路になっている道路に面した物置が、倒壊しそうなまま放置されている。事故が起こる前に、問題点を把握するなど大至急対処すべきと考えるがどうか。

答 ご指摘を受け、所有者に撤去をお願いしたところ、解体作業に着手していただいている。遠からず撤去されるものと思っている。町民等と役場が連携して今後に対応したい。

ここを
聞きたい

町営住宅の水はけ改善を

問 北栄団地・樺戸団地の水はけが悪く、住民から改善要望がある。衛生上や建物維持管理からも重要な問題では。

答 要望があった場合、現地を確認し対応。両団地は、水のたまりやすい低地で、砂利を入れるなど順次補修している。

【その他の主な質問項目】
消費税10%アップを延期すべき、街路樹の根の悪影響対策 など



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

町民の声に寄り添い早期改善を！！

障がい者や高齢者の心身機能は一人一人違い生活の中で困っていること、不安を感じていることは様々であるため、より快適に過ごしていけるような配慮が必要と考える。また町民の拠点、憩いの場所の西当別コ

ミュニティーセンターは葬儀やあらゆる催し、災害時は避難所ともなる場所として使用されるため、暖房の故障や体育館の床の劣化など改善の声がある。早急に対応する必要があると考え質問した。

ここを
聞きたい

バリアフリーの町に

問 障がい者や高齢者により身体機能は様々。利用者の視点に立った公共施設のバリアフリー化（多目的トイレ、洋式トイレ、段差、手すり等）をどのように推進していくのか。今後の取組みは。

答 順次改修を進めている。公共施設の改廃や建て替えなどを進める上で二重投資にならないように配慮しながら進めていくことを基本として考えている。

ここを
聞きたい

でこぼこ歩道の改善を

問 スウェーデン大通りの歩道がでこぼこのため、高齢者が転倒したりとても危険との声が多く、改善の要望もあがっている。今後の対応は。

答 毎年のように部分補修を行ってきたが路面沈下が発生しやすく、安心して歩ける歩道にするには、場合によってはアスファルト舗装に更新した方が歩行性、コスト面からも望ましいと考える。

ここを
聞きたい

諸手続きのサービス向上

問 障がい者や難病を含め高齢者の申請などを太美出張所で手続きできるようにしては。また、出張所は郵便局内にあるが、階段のスロープ側と壁側に手すりがあると本当に助かるという声もある。

答 「ゆとろ」へ取次ぐ日数はかかるが出張所でも手続き可能。出張所に行けない場合はフレキシブルに対応している。手すりは郵便局に対し要望するが、町民の声を直接伝えてもらえればと思う。



西当別コミュニティセンター

ここを
聞きたい

西コミセンホールを暖かく

問 西当別コミュニティセンターは町民の拠点、憩いの場所で、災害時には避難所にもなる。ここ数年玄関ホールの暖房が故障していて、とても寒いという町民の声を聞く。今後の改善は。

答 エントランスホールの床暖房は現在使えない状況にあるが、その代替としてストーブを配置することにしており、利用に際して大きな支障はないと考えている。

ここを
聞きたい

体育館の床の劣化

問 西コミセンの体育館の床が劣化し、怪我の心配の声があり、現地を確認した。割れている箇所もあり、広範囲であちらこちらにガムテープが張られていたと思われる跡があった。今後の対策は。

答 毎日職員が点検し、破損箇所がある場合は補修を行っている。また、月に1度1級建築士の点検も実施している。今後は、社会教育施設全体の修繕計画の中で緊急性や優先度を考慮し進めていく。

一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の
ねらい

住んでもらえる街づくり待ったなし

総合計画・戦略通りにいかず人口減が止まらない。子どもと高齢者にやさしい町づくりは必ず人口増につながる。子ども医療費の入院費助成に続き、通院費の助成を急いで実施すべき。ふれバの料金をせめて半額

にすべき。町長曰く「周辺自治体と差別化を図り思い切った施策でインパクトのある形で」やるなら今でしょ。一体型小中一貫校建設約60億円の事業費。財政は、他の施策との関わりは大丈夫が質した。

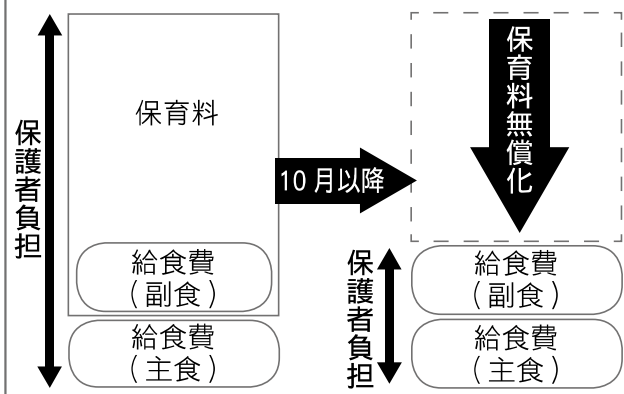
ここを
聞きたい

子ども達に給食費無償化を

問 今まで給食費は保育料に含まれていたが、保育料無償化に伴い給食費を別に徴収するのは、保育料無償化と言えないのでは。また、小中学校も保育所同様教育の一環で、給食費を無償にしては。

答 幼児教育無償化に伴う給食費の徴収のあり方は、今後国にしっかり要望していきたい。また、小中学校において、準要保護世帯は給食費を免除しており助成が必要な世帯への支援は行っている。

※2号認定・年収360万円以上・第1子目の場合



保育料無償化の保育料と給食費のイメージ図

ここを
聞きたい

高齢者の交通確保は

問 元気に健康で住み続けられるまちづくりには、積極的に行動することを助ける仕組みが必要。高齢者にはふれバの運賃を半額にすることや定額で安価に町内を移動できるタクシーの実施は。

答 昨年度、定額タクシーの実証実験を実施し非常に好評であったので、当別町にどのように定着させていくことができるのか、実証事業を進めていくこととしている。

ここを
聞きたい

今ある施設の有効活用

問 今ある小学校の体育館の利用について、現時点では考えていないとの答えであった。まだ新しい小学校体育館の活用について、町民が納得いく方向性を出すべきでは。

答 現在の当別小学校の体育館を使って、新たな義務教育学校の教育課程を実施することは考えていない。町長部局において町の公共施設全体の中でどうするか検討を進めている。

ここを
聞きたい

財政運営計画の見通しは

問 一体型小中一貫校建設のランニングコストや長寿命化計画についてまだできていないとのことだが、今後の町全体の財政運営計画は大丈夫なのか。財政運営の見通しを示すべきでは。

答 今後の財政の推移を十分分析した結果、財政健全化の判断基準をクリアすることは確認をして決めている。今年度第3期の財政運営計画に移行するが、その策定が9月に行える予定である。

ここを
聞きたい

23線排水の災害対応は

問 23線排水と中央排水川の下流部の整備は、地元や耕作者などから要望を聞き取るべきでは。

答 地元の声を反映する努力は続けるが、河川等管理者の国、北海道としっかり連携できる体制整備に努めていきたい。

【その他の主な質問項目】

子ども通院費助成で周辺自治体に負けない施策、町職員の新採用者に対する町内居住の取り組み など



一般質問

山崎 公司 議員

質問の
ねらい

ふるさと納税を人口減少対策に

道の駅が開場し1年8カ月経過。さらに満足度を高め人気ある道の駅を目指した考えを。2019年公式アンバサダーに「ノール」が就任したが、どのような狙いをもって起用したのか。新たな「スウェーデン館」の情報

報発信は。ふるさと納税制度が導入され10年。数多い寄附者との接点を持ち町を一緒に育てていく考えは。活用として、人口減少対策に子育て世代の住宅購入補助、JR定期代の補助の具体化について質問した。

ここを
聞きたい

道の駅アンバサダー ^{ノール} NORD

問 人気ある道の駅実現に向け、2019年公式アンバサダーにNORDが就任した。どのような狙いをもってNORDをアンバサダーに起用したのか。

答 道の駅のターゲットは、当初40代～60代の女性で、ほぼ予定どおりの客層。NORDのファンは10代～20代と考え、さらに来場者を増やすため新たなターゲット拡大の試みとして起用した。

ここを
聞きたい

ふれバ道の駅線 改善策は

問 試行期間が終了したふれあいバス西当別道の駅線の乗車率が非常に悪いと地域の声が上がっている。今後の改善策は。

答 今のあり方が最適と考えてはいない。例えば、

コミュニティバスではなく道の駅専用の送迎バスに切り替えることなどをこれから検証していく必要があると考えている。今後の推移をしっかりと見極めて次の対策を打っていきたいと考える。

ここを
聞きたい

スウェーデン館の情報発信

問 今年6月から、スウェーデン館の情報発信は、どのように行うのか。

答 スウェーデン館は北欧文化などの情報発信ツールとして非常に有効な施設。今後、町の魅力を発

信し、移住促進につなげたい。また、スウェーデンヒルズなどを紹介するパネル展を開催するが、スウェーデンヒルズへの移住の動機づけの一つになればと考えている。今後も様々な形で施設の有効活用をしていきたい。



スウェーデン館の多目的ホール

ここを
聞きたい

寄附者との接点で町を育む

問 数多い寄附者に単なる返礼品を送るだけの単発的なつながりではなく、寄附をきっかけに町とさまざまな接点を持ってもらう工夫をして、町と一緒に育てていく考えはないのか。

答 魅力ある返礼品のラインナップがリピーターを増やしていく。継続的に町を応援してもらうことが、ふるさと納税を最も効果的に活用していくことであると考えている。

ここを
聞きたい

寄附金の活用は子育てに

問 子育て世代の移住を実現するために、ふるさと納税をこの分野へ重点的に活用する考えは。

答 町としても今年度予算において、寄附金の活用分のうち約40%は子育て、教育の施策に対して活用している。

【その他の主な質問項目】

総務省通知によるふるさと納税返礼品の規制、ふるさと納税を活用した子育て世帯への住宅購入補助 など